発行：岡山大学広報課

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 125
2026.9

OKAYAMA UNIVERSITY

TOPICS 1

令和8年度秋季学位記授与式を挙行



本学は9月25日、令和8年度秋季学位記授与式を本学創立五十周年記念館で挙行しました。式には学部生・大学院生ら計209人が出席し、それぞれの学びを終え、新たな門出を迎えました。

式では、那須学長が式辞を述べ、「FUEKI-RYUKO（不易流行）」と「OKADAI-LOVE（岡大愛）」の2つの言葉を卒業生・修了生へ贈りました。「卒業後も皆さんは岡大の一員であり、それは生涯変わりません」と語りました。

卒業生・修了生を代表して、大学院社会文化科学研究科のNAZIR YUSRAさんが、岡山大学での学びを通じて、知識だけでなく、忍耐や自立、異なる文化や考え方を尊重することの大切さを学んだと振り返り、「勇気と誠実さ、希望を胸に前へ進みましょう。学び続け、成長し続け、私たちの旅が始まった場所を決して忘れないようにしましょう」と、ともに新たな一歩を踏み出す卒業生・修了生に呼びかけました。

参考　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id15680.html

TOPICS 2

大薗彩夏助教が「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を受賞

学術研究院環境生命自然科学学域（理）の大薗彩夏助教が、「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を受賞し、9月2日にはフランス大使館公邸で授賞式が開催されました。

大薗助教は、博士後期課程在籍時に応募した「アホロートルを用いた皮膚I型コラーゲン構造形成メカニズムの解明」が評価され、生命科学分野で受賞しました。アホロートルの透明な皮膚を用いて、コラーゲンが皮膚の骨組みを支える新たな仕組みを明らかにした研究で、再生のプロセスから「若返り」の謎に迫る、将来の医療につながる独創的な研究として評価されました。

大薗助教は「アホロートルの研究を人類に役に立つような形にできればうれしいです。また、基礎学問としてもコラーゲン形成・産生の新しい機序を深く探求していきたいと思っています」と語りました。

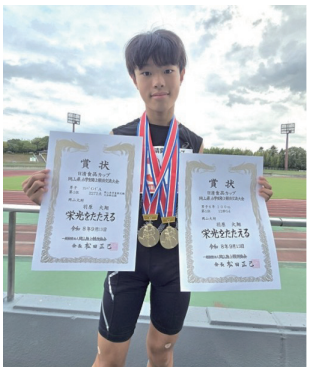
大薗助教は現在も岡山大学で研究を続けており、アホロートルの再生能力を手掛かりに、コラーゲン形成・産生の新たなメカニズムの解明を目指しています。



参考　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id15639.html

Pick up!

附属小学校児童が小学生陸上岡山県予選で2冠達成



9月13日に、岡山県津山陸上競技場で開催された「日清食品カップ岡山県小学生陸上競技交流大会」に岡山大学附属小学校の児童が出場し、6年生の羽原大翔さんが100m走およびコンバインドA（80mハードル走と走高跳の混成競技）で優勝し、2冠を達成しました。

この大会は、小学生唯一の全国大会につながる大会で、岡山大学附属小学校からは、岡山地区予選会を勝ち抜いた5人が出場しました。

羽原さんは、コンバインドAで岡山県学童新記録および大会新記録を樹立しました。11月22日には、東京・国立競技場で開催される全国大会へ出場します。

羽原さんの全国大会での活躍に期待が高まります。

参考　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id819.html

TOPICS 3

KIBINOVEに設置した津山高専サテライトオフィス開所イベントを開催

9月10日、本学津島キャンパスの共創イノベーションラボ「KIBINOVE」において、津山工業高等専門学校（津山高専）のサテライトオフィス開所イベントを開催しました。

津山高専は、文部科学省大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化） の支援を受けて高度情報専門人材の育成に取り組んでおり、2026年6月にKIBINOVEドライラボ303にサテライトオフィスを開設しました。サテライトオフィスは、企業人材を活用した教育プログラムの実施や、産学連携活動の推進に向けた拠点として活用されています。

今回のイベントは、「KOSEN RISE」をコンセプトに開催しました。「より良い高専教育の実現に向けて挑戦する」という思いが込められており、高専、大学、企業、地域が連携しながら新たな価値を創出していく取り組みを広く発信する機会となりました。





参考　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id15663.html

TOPICS 4

本学職員2人を「岡山大学研究開発マネジメント人材」に認定！



本学は、岡山大学総合技術部の石原すみれ技術専門職員、北條優子技術専門職員を新たに岡山大学研究開発マネジメント人材として認定しました。

本認定は、「岡山大学研究開発マネジメント人材認定に関する規程」に基づき、研究開発マネジメント業務を主体的かつ積極的に担うことのできる人材の養成と、教職員の高度化を目的として実施しました。認定者は、研究内容に関する深い理解と洞察を有し、大学等の組織運営に関わる研究開発マネジメント全般に携わる研究開発マネジメント人材としての活躍が期待されます。

今回の認定により、認定者は合計12人となりました。今後も、研究者と研究開発マネジメント人材が連携して研究開発に挑戦する環境の醸成に資する重要な取り組みとして、認定者の拡大を図っていきます。

参考　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id15617.html

PRESS RELEASE

メタバースで小児・AYA患者さんに「行けなかった修学旅行」を届ける ―京都・建仁寺の特別な許可を得て法堂と双龍図をバーチャル空間に再現―

岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）医療情報化診療支援技術開発講座の長谷井嬢教授（特任）（整形外科）は、臨済宗建仁寺派 大本山 建仁寺の協力を得て、メタバース上に建仁寺「法堂」を再現したバーチャル空間を開発しました。長期の治療により修学旅行などに参加できない小児・AYA（思春期・若年成人）世代の患者さんに向けて、「バーチャル修学旅行」として特別な体験を提供します。がんなどで長期入院や集中的な治療を続ける患者さんは、厳重な感染管理や体力・免疫力の低下により、参加を断念せざるを得ないことが少なくありません。 今回、建仁寺の特別な許可のもとで法堂の外観と内部、天井に描かれた「双龍図」、加えて建仁寺で展示されている俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」の高精細複製作品などを撮影し、そのデータをもとにバーチャル空間を制作しました。岡山大学病院を含む全国33の病院および連携施設から患者さんが参加し、自分のペースで、また全国の仲間と一緒に堂内を見学することができます。「みんなが行った修学旅行に行けなかった」という体験を、「自分たちだけが訪れることのできる場所がある」という体験へと転換することを目指します。





参考　https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1610.html